

キラリ通信



令和6年10月1日発行

全校版

特別支援教室七小キラリ

拠点校 第七小学校長 島村 雄次郎

巡回校 第三小学校長 田村 聡

巡回校 第六小学校長 田野倉 宏美

特別支援教室キラリの紹介

東京都には、特別支援教室が全小中学校に設置されています。本教室は、知的な発達には遅れがなく、通常の学級の授業におおむね参加できていますが、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害の傾向があり

- ・勉強面で得意、不得意の差が大きい。(例:計算はできるが、文章題だと難しい)
- ・相手の気持ちを理解すること、自分の感じたことを言葉で表現するのが苦手。
- ・急な予定変更や、初めての場所、初めてのものが苦手。こだわりが強い。
- ・集中力が長く続かない反面、夢中になると切り替えが難しい。

などの、発達のアンバランスや情緒面、社会性に課題のあるお子さんのための教室です。

キラリの日

キラリでは、週に1、2時間キラリ教室に通い、自分に合った活動を行っています。1時間で、いくつかの活動を組み合わせています。今回は、とある日のキラリの日をご紹介します。



【話を聞く時の声の大きさは？】

AさんとBさんは、相手の話を黙って聞くことが苦手です。『声の大きさレベル表』を見て、場面に合った声の大きさを学んで、練習しています。

1時目



【今の言動は 素敵だよ！】

Cさんは、相手の気持ちを考えた言葉選びが苦手です。教員がCさんの言動を即時評価して、望ましい姿を教えています。学級でも意識できるよう、学級担任と連携した声掛けを行っています。



【きちんとって何？①】

Dさんは整理整頓が苦手です。曖昧な表現「きちんと」の感覚を、教科書や文房具を使って確認しました。

2時目



【きちんとって何？②】

言葉の確認をした後、自分のロッカーの写真を見て、「きちんと」しているか自己評価し、実際に学級で整理整頓を行いました。

